

たれかさはあみのめみせですくふべきぶちに玄づめる石ぶしのみを

〔現存和歌六帖〕さうひ

正三位知家

早せ河さてにはちかふい。しぶしをいさうひとつにまかせてをみん

〔尺素往來〕巡役之朝飯明日可令勤仕候此間依霖雨美物雖難得候略○中魚類者○中石臥

〔日本山海名產圖會〕鮓字書に見ることなし、姑俗に從ふ、一名鰐、ブシ

〔本朝食鑑〕河湖無鱗、鮓訓伊志

七

布之

志

加志

之別

名義也、或

曰以伊志

布之爲

加志

之別

名義也、或

</div